

首都圏本部

「つながる山手線フェス ～環状運転 100周年～」を開催

2025年に山手線が環状運転を開始してから100周年を迎えたことを記念して、10月4日から11月3日まで、「つながる山手線フェス ～環状運転 100周年～」を開催しました。「つながる」をテーマに、沿線地域や100周年を迎える企業とのコラボレーション企画をはじめ、ラッピング列車の運行や鉄道イベント、オリジナル商品の販売、音楽・アートに触れることができるイベントなどを展開しました。



横浜支社

橋本駅でエキナカ美術館「美旅」を開催

橋本駅では10月14日から11月20日まで、多摩美術大学とともにエキナカ美術館「美旅」を開催しました。橋本駅を訪れたお客さまが思わず旅に出かけたいくなるような空間をつくりたいという思いから、学生の皆さんが「旅」というテーマから自由にイメージを膨らませて制作したデジタル・アナログ・平面・立体などのアート作品34点をポスターにし、同駅構内の連絡通路に展示しました。



八王子支社

「スポチャレ立川駅2025！」を開催

10月13日、立川市と連携する8つの地元スポーツ団体と協力し、スポーツ体験イベントを立川駅で開催しました。次世代スポーツであるeスポーツやトレインシミュレータの体験も用意し、多くのお客さまに楽しんでいただきました。これからも「鉄道とまちが一体になり活気あふれる社会」の実現をめざして取り組んでいきます。



大宮支社

埼京線開業40周年記念「Saikyo Festa」を開催

9月30日に埼京線が開業40周年を迎えたことから「ありがとうを超えたおもてなし」をテーマに、首都圏本部と一体となり池袋～川越駅沿線のくらしとつながる沿線活性化イベント「Saikyo Festa」(9月13日～10月13日)を開催しました。40周年ロゴを掲出したラッピング列車・記念列車の運行や、西武鉄道(株)と連携した鉄道カードプレゼントなど多彩な施策を実施し、多くのお客さまにお楽しみいただきました。



高崎支社

「ぐんまちゃん高崎駅ジャック ～この夏ぐんまでリトリート～」を開催

2024年に好評だった、群馬県宣伝部長ぐんまちゃんとのコラボレーション企画「ぐんまちゃん高崎駅ジャック～この夏ぐんまでリトリート～」を、9月30日まで開催しました。期間中は、高崎駅が「ぐんまちゃん駅」となり、駅内外の装飾やオリジナルヘッドマークを装着した211系普通列車の運行、デジタル駅スタンプアプリ「エキタブ」を使用したスタンプラリーなど各種キャンペーンを実施しました。



水戸支社

E501 SAKIGAKE 「ミト-ヒチピアホール号」を運行

8月30日、茨城県の個性豊かなブルワリーによるクラフトビール飲み比べとボリューム満点の特製おつまみ弁当が堪能できるイベント列車 E501 SAKIGAKE「ミト-ヒチピアホール号」を水戸～日立間で運行しました。駅舎内から太平洋を一望できる日立駅では、JR東日本社員による駅ピアノ演奏が披露され、美しい景色とサプライズのおもてなしにお客さまから好評の声をいただきました。



千葉支社

ジェフユナイテッド市原・千葉サポータートレインを運行

8月9日の大宮でのアウェイ戦にあわせて「ジェフユナイテッド市原・千葉サポータートレイン Victory Ale号」を蘇我～大宮間で運転しました。チケットは即日完売で、車内では佐藤勇人クラブユナイテッドオフィサー（CLUB UNITED OFFICER）との交流会や抽選会、HUBによるドリンク飲み放題を実施し、にぎわいを見せました。試合にも勝利し、お客さまと喜びをわかちあうことができました。



長野支社

「株主懇談会」を初開催

9月2日、株主さま向けの限定イベント「株主懇談会」を長野支社で初めて開催しました。観光列車「リゾートビューふるさと」(専用臨時列車)への乗車や姨捨駅ラウンジ「更級の月」での軽食、沿線案内、支社幹部との車座での意見交換などを通じて、地域の魅力や会社の取組みを体感いただきました。終始なごやかな雰囲気、心に残る1日となりました。



東北本部

2025年度「第1回 ESG全体会議」を開催

8月25日、東北本部の2025年度「第1回 ESG全体会議」を開催しました。「実はそれもESG」を合言葉に、福祉活性デザイナーの豆芻(まめた) 英志講師による講演会をはじめ、手話講座などのワークショップ、グループ会社社員も参加して行ったポッチャ大会など多彩なプログラムを実施し、ESGや共生社会への理解が深まる1日となりました。今後もESGに対する意識向上と活動の活性化に向けて、継続的な取組みを推進していきます。



盛岡支社

重点共創エリア「岩手」を実施

「秋は短し 旅せよ岩手 WANDER IWATE」をキャッチフレーズに、岩手県の魅力を多角的に発信し、地域活性化と観光のお客さま誘致を図る「重点共創エリア『岩手』」を9月1日～11月30日に実施しました。9月6日には盛岡駅前の特設ステージでオープニングセレモニーを行うとともに、盛岡駅で「HERALBONY Art Prize 2025」でJR東日本賞を受賞した「つながる風景」のアートバナーの除幕式を実施し、駅構内を彩りました。



秋田支社

警察・消防と合同で廃車を活用した訓練会を実施

9月19日、秋田総合車両センター構内の廃車を活用し、脱線事故の救出活動やジャッキアップ作業、列車内での無差別殺傷や、有毒物質への対応など、リアルな環境における緊急時の対応力向上を目的とした訓練会を実施しました。JR東日本・警察・消防から約100名が参加し、連携強化と判断力、安全確保技術を高める有意義な訓練となりました。



新潟支社

「JRE Local Hub 燕三条 in Tokyo Station」を開催

8月29日から9月5日まで、東京駅地下イベントスペース「スクエア ゼロ」にて、3回目となる「JRE Local Hub 燕三条 in Tokyo Station」を開催しました。燕三条地域から81社が参加し、売上は過去最高を記録。例年以上に、多くの来場者の方々へ地域の魅力を発信できました。今後も地域と連携し、商談・展示・製品販売を通じて首都圏と同地域のつなぐビジネスマッチングの推進を図り、燕三条地域の産業振興に取り組んでいきます。



レール散水設備を活用した 工事桁沓座部設置の酷暑期施工

7月20日夜より、新宿駅構内でレール散水設備を活用した軌道内作業に着手しました。7月20日から9月10日までの酷暑期は、温度上昇によりレール張出しのリスクが高まり、軌道内作業に制約がかかります。これを解決するため、2019年よりレール温度をコントロールする手法の検討を開始。レール散水設備を活用した施工を考案し、他系統とともに安全面の確認を進めながら、工事桁の沓座部*の構築に限り酷暑期の作業を行っています。

*工事桁の沓座部…工事桁本体の荷重を支える台座



郡山駅構内分岐器撤去・棒線化工事を開始

東北線郡山駅構内における分岐器撤去・棒線化で、4組の分岐器撤去・棒線化が完了しました。郡山駅では連動装置の老朽取替えにあわせて設備のスリム化を実施しており、東北建設プロジェクトマネジメントオフィスでは使用頻度の低い17組の分岐器の撤去・棒線化工事を担当しています。2026年10月までに、残る13組の撤去・棒線化を行う予定です。施工計画の入念な検討とリスクの洗い出しを行い、関係各所と連携して安全かつ確実に工事を遂行します。



ビューカードの「即時発行（バーチャルカード）」 サービスを開始

「ビューカード スタンダード」では9月17日から、新たに「即時発行（バーチャルカード）」のサービスを開始しました。スマートフォンで申し込み、手続き完了から最短5分で発行が可能となり、その後すぐにカードを利用できるサービスです。それに伴い、2025年9月17日から11月30日に入会キャンペーンなどを実施しました。



ファンドによる「T-LOGI」2棟・ 「PMO渋谷II」の取得

8月26日、JR東日本不動産投資顧問(株)がアセットマネジメント (AM) を担う私募ファンドで、東京建物(株)が開発した物流施設「T-LOGI綾瀬」「T-LOGI鶴ヶ島」、野村不動産(株)が開発した築浅の中規模ハイグレードオフィスビル「PMO渋谷II」を取得しました。リレーションを活かした相対取引による取得で、本ファンド組成により同社がメインAMとして組成した私募ファンドは10本となりました。



「LiViTファミリーデー」を初開催

8月21日、家族に職場を紹介し、家庭と会社のつながりを深めることで、社員の働きがい向上をめざす、「LiViTファミリーデー」を開催しました。社長との名刺交換や会社探検、鉄道教室を実施し、「パパ・ママの働く姿を見ることができてうれしかった」といった感想もいただきました。社員も部署を越えた交流を行うことができ、まさに「融合と連携」を実感する1日でした。



「おやつTIMES」が「OMOTENASHI Selection 2025」金賞を受賞

6月12日、地産品ショップ「のもの」がプロデュースする「おやつTIMES」が、「OMOTENASHI Selection 2025」で金賞を受賞しました。本賞は日本の優れた「おもてなし心」あふれる商品・サービスを世界に広めることを目的に創設されたアワードです。「おやつTIMES」は、日本各地の素材や伝統菓子を手に取りやすく、食べやすい形にした小袋菓子で、約30種類を展開しています。「のもの」各店やECショップなどで好評発売中です。

